



「自転車ネットワーク計画」とは、安全で快適な自転車通行空間を効果的かつ効率的に整備することを目的とした計画です。本地域では、図に示す自転車ネットワーク路線（自転車通行における安全性確保の優先度が高い路線）やサイクルステーションの整備により自転車通行空間の連続性や自転車利用環境の充実を目指します。

【小熊黒沢林道について】  
本路線は勾配が急で幅員も狭いため十分な安全確保が困難なことから、利用可能期間を4月30日～11月中旬とし、原則、イベント時を中心とした利用を求めるとします。

- 《凡 例》
- （自転車ネットワーク）
    - 自転車ネットワーク路線
    - ジャパンアルプスサイクリングルート
    - ★ 拠点駐車場
  - （幹線道路）
    - 国道
    - 主要地方道
    - 一般国道

地理院タイルを加工して作成



北アルプス地域自転車活用推進計画（概要版）  
令和4年3月  
発行・編集 北アルプス地域自転車活用推進協議会  
大町市・池田町・松川村・白馬村・小谷村

# 北アルプス地域自転車活用推進計画

【概要版】



## 北アルプス地域自転車活用推進計画のあらまし



### ● 計画の概要

北アルプス地域では、県計画による長野県一周ルートである「Japan Alps Cycling Road」に先駆けて、地域で連携した「北アルプス地域サイクリングモデルコース」を設定し、魅力的な地域資源を生かし、インバウンドを視野に入れたサイクルツーリズムを推進してきました。

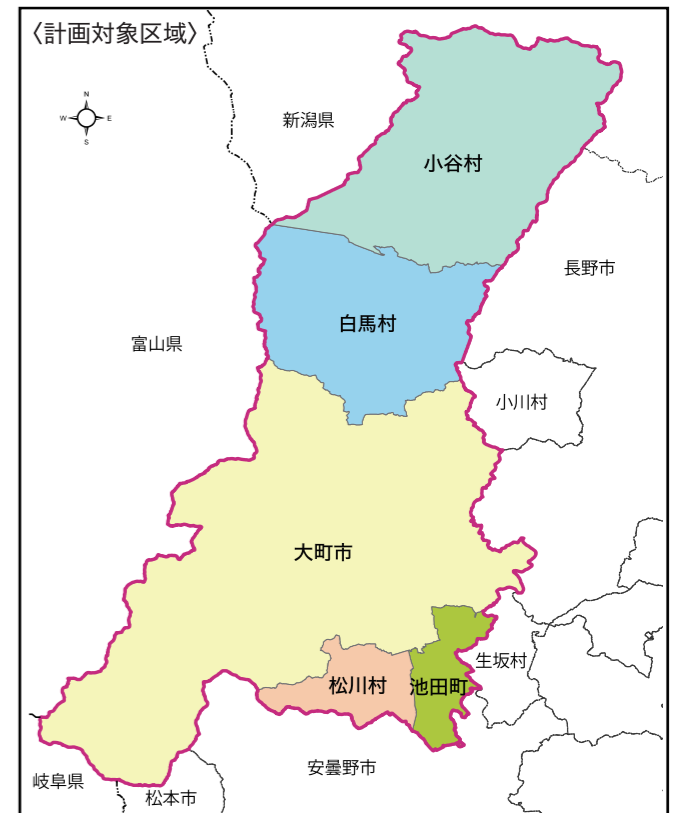
「北アルプス地域自転車活用推進計画」は、平成29年5月に施行された「自転車活用推進法」等に基づき、当地域の5市町村（大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村）が策定主体となり、安全で快適な自転車の利用を促進することを目的として策定しました。

### ● 計画の対象区域

北アルプス地域の大町市、北安曇郡池田町、松川村、白馬村、小谷村の1市1町3村

### ● 計画期間

令和4年度～令和8年度





### 【目標1】 交通事故のない、安全安心な自転車利用の推進

#### 1. 交通安全教育の推進

学校・地域等における交通安全教室の推進/自転車指導員等の  
人材育成/事業所等における安全意識の普及・啓発

#### 2. 自転車の安全利用に向けた環境づくり

自転車利用の安全性確保(適合車両の普及等)/自転車点検・  
整備・保険の加入促進

#### 3. 災害時における自転車の活用推進

災害時における自転車活用の検討

**自転車はルールを守って安全に**  
～自転車が関係する交通事故は、全体の約1割を占めています～

**【自転車利用安全五則】**

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行(※)
- 4 安全ルールを守る
  - ・飲酒運転・ふたり乗り・並進の禁止
  - ・夜間はライトを点灯
  - ・交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用

(※)歩道で自転車同士がすれ違うときは、相手を右側に居てすれ違ひましょう

長野県自転車  
安全・安心PRキャラクター  
風野 りん  
イラスト/ 福生直樹

長野県 自転車安全利用啓発カード  
(長野県県民文化部くらし安全・消費生活課)

### 【目標3】 健康長寿・脱炭素社会の構築に向けた自転車利用の推進

#### 1. 健康増進のための自転車利用の促進

健康増進ツールとしての自転車活用のPR促進/日常生活圏に  
おける自転車利用環境の充実(周遊コース整備等)

#### 2. サイクルスポーツの振興

まちづくりとの連携によるイベント・競技会のPR/サイクル  
スポーツ団体等の活動支援/自然環境と自転車と共存できる  
環境・ルールづくり

#### 3. 自転車利用促進による脱炭素社会への寄与

交通手段の転換促進/自転車利用促進に取り組む事業者への  
評価充実



白馬岩岳 MTB パーク (白馬村)

### 【目標2】 自転車利用環境の向上

#### 1. 自転車通行空間の計画的な整備

自転車通行空間ネットワークの整備(舗装修繕・矢羽根型路面  
表示設置)/危険箇所への対応(路肩の改良・視距改良等)

#### 2. 民間事業者及び他の交通機関との連携強化

サイクルステーション (CS) の充実/CSの位置情報・サービス  
内容の発信/公共交通 (鉄道、バス) との連携による広域的な  
利用環境づくり



大糸線サイクルトレイン (令和3年9月)

### 【目標4】 北アルプスサイクルツーリズムの推進

#### 1. 誰もが楽しめるサイクルツーリズムの展開

来訪者のための拠点づくりやルート情報等の発信/観光資源間  
の連携による自転車利用環境の向上/地域特性を活かした旅行  
商品の開発と人材育成/外国人旅行者への対応

#### 2. 北アルプス地域からの自転車文化の発信

圏域統一のサイクルツーリズム情報の発信/マナー向上への  
意識啓発/大都市圏でのPR活動



ファットバイク雪上ライド (小谷村)

### 北アルプス地域では、道路舗装上での「矢羽根型路面表示」の設置を進めています

「矢羽根型路面表示」とは、自転車の通行位置と  
方向を明示して、自転車の安全な通行を促すとともに、  
自転車利用者だけでなく、自動車ドライバーに対しても、  
車道上の自転車通行位置を知らせる法定外の路面  
表示です。

歩行者、自転車、自動車のそれぞれが、限られた  
道路空間を安全かつ快適に共有することで、「自転車  
交通事故ゼロ」を目指しています。



県道有明大町線 松川村安曇野ちひろ美術館付近に  
設置されている矢羽根型路面表示



#### ●関係機関の連携・協力

本計画の目標達成に向けて、「北アルプス  
地域自転車活用推進協議会」を構成する民間  
事業者及び行政が中心となり、地域住民と連携  
しながら計画の推進を図ります。

#### ●計画のフォローアップ及び見直し

左に示すPDCAサイクルに基づき、適切に  
施策を推進していきます。

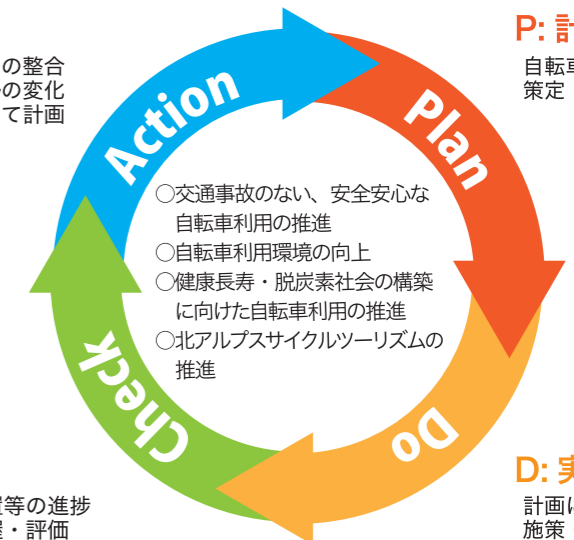
また、国・県計画の改定などに併せ、必要に  
応じて計画の見直しを検討します。

#### A: 改善

上位計画との整合  
や社会情勢の変化  
等を踏まえて計画  
の見直し

#### P: 計画

自転車活用推進計画の  
策定



#### C: 評価

施策・措置等の進捗  
状況を把握・評価

#### D: 実行

計画に位置付けられた  
施策・措置等の実施